

MPS=(スキル多様性+スキル完結性+スキル重要性)/3×自律性×フィードバック

ここで、「講義」という職務を考えてみます。まず、講義をするためにはテーマを決めたり、文献を読んで資料を作ったりと「多様なスキル」が求められます。次に、一人で資料の作成から採点と評価を行います。つまり、職務の「完結性は高い」です。また、教育は社会的に「重要性が高い」でしょう。さらに、講義で何をどのように教えるのかは、かなりの程度、教員の「自律性が担保」されています。しかし、職務遂行の結果について知らされるフィードバックは、ほとんどゼロです。上に書いたように学生からの情報は得られないからです。このことから、MPS は掛け算ですので、積がゼロに近くなります。状況としては最悪です。もちろん学生も本当に大変だったと思います。ですが、2 回言わせてください。かなり辛かったです。

皆さんや皆さんの部下の職務はこの理論にあてはめてみるといかがでしょうか。あるいはご自身が経験したテレワークにあてはめてみるといかがでしょうか。こうした理論枠組みにもとづいてみれば、モチベーションを高めるための方法が見えてくるかと思います。

それでは、私はどのようにして MPS を高めたのでしょうか。それは、「人材マネジメントの基礎」の「第 2 回モチベーション理論」でお話したいと思います。という予定でしたが、残念ながら今期はコロナウイルス感染症の影響で不開講となりました。とても残念ですが、またの機会に改めてお話しができれば幸いです。

参考文献

Hackman, J. R. and Oldham, G. R. (1975) “Development of the Job Diagnostic Survey” Journal of Applied Psychology, Vol.60 No.2, pp.159-170.

>>次号は、「実践 英語プレゼンテーション」講師：教養教育部 講師 森谷 浩士先生が担当されます。

◆今週の一冊◆

宮辻先生おすすめの本です。



『ワーク・モチベーション』 ゲイリー・レイサム著 NTT 出版

モチベーション理論を網羅した本です。

モチベーション研究の黎明期から 2000 年代に入ってから研究動向まで幅広く渉猟しています。ですが、文体も優しく、読みやすい本です。

僭越ながら、私は上に書いたようにマネジメントの理論を困った時に実際に使います。モチベーションでお困りの方がいらっしゃれば、是非本書を手に取り、理論を実務や私生活で使っていただければと思います。

◎事務局から◎

◇キャリアアップ・プログラム2020年度 3 学期 開講中止のお知らせ◇

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に鑑み、本学立町キャンパスで実施しています「キャリアアップ・プログラム(社会人対象講座)」の3 学期(1 月・2 月・3 月)開講を中止いたします。

当プログラムを平素からご利用いただいている皆様、すでに申し込みをいただいている皆様方には大変申し訳ございません。

すでにお申し込みをいただいている方につきましては、担当者から個別に連絡を差し上げます。

なお、2021 年度のプログラムについては開催予定ですので、改めてご案内させていただきます。

2019年度の講座終了後のアンケートに寄せられた受講生の声の一部をお知らせします。

2021年度の受講をご検討の皆さまは、受講の参考にご覧ください。

<https://www.hue.ac.jp/visitors/local/voice2015.html>

《キャリアアップ・プログラム》

<http://www.hue.ac.jp/visitors/local/careerup/index.html>

※ご意見・ご感想はこちらまで career-up@hue.ac.jp

※配信解除はこちらから行ってください。

<https://y.bmd.jp/bm/p/f/tf.php?id=0828719345&task=cancel>

※広島経済大学 オフィシャルサイト <http://www.hue.ac.jp/>

発信元:広島経済大学 教育・学習支援センター キャリアアップ・プログラム事務局 (082-871-9345)